

第47回理事会・第23回社員総会 議決

令和4年度

事業報告書

令和4年4月1日から

令和5年3月31日まで

公益社団法人 北之台雅楽アンサンブル

【基本方針】

- (1) 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催
- (2) 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催
- (3) 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介
- (4) 管理・広報部門の充実（法人活動）

【具体的事業】

1. 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催

① 国内雅楽演奏会

【事業名1：地域における雅楽の振興】

- a. 事業の名称「第22回輝け！みやまえ太鼓ミーティング 雅楽演奏」
- b. 事業の趣旨：地域の催しに参加し、地元で雅楽の振興を深める機会を増やすことを願いとし、川崎市の要請に基づき下記の通り実施した。
- c. 日 時：令和4年8月27日（土）
- d. 場 所：川崎市宮前区・宮前市民館大ホール
- e. 参加者：一般約100名
- f. 入場料：無料
- g. 内 容：演目「小乱聲」「陵王乱序」「平調音取」「陪臚」
(演奏時間15分)
- h. 主 催：川崎市宮前区街づくり振興課
- i. 反 響：
 - ・ 「伝統芸能に触れられて感動した」「雅楽の古来の楽器の説明も聞きたい」「今年の太鼓ミーティング発表がとにかく待ち遠しかった」「それぞれ、力強くて感動しました。ありがとうございました」といった感想であった。
 - ・ 宮前区が発行するタウンニュースに当該の演奏する写真が紹介された。

【事業名2：地域における雅楽の振興】

- a. 事業の名称「いすみ市長者天神社おたち祭 雅楽奉納」
- b. 事業の趣旨：地域の催しに参加し、地元で雅楽の振興を深める機会を増やすことを願いとした。
- c. 日 時：令和4年10月31日（月）
- d. 場 所：いすみ市長者天神社境内

- e. 参加者：一般約 150 名
- f. 入場料：無料
- g. 内 容：雅楽演奏
管絃「太食調音取」「合歡塩」、舞楽「浦安の舞」
(演奏時間 30 分 演奏 2 回実施)
- h. 主 催：いすみ市長者町地域商工会
- i. 反 響：コロナ禍により 2 年ぶりの開催となり、参加いただいた市民の方々に喜んでいただいた。

② 雅楽に関する講演会

【事業名 1：第 13 回「雅楽と国際文化交流」】

- a. 事業の趣旨：国内外の各界の有識者を招聘し、日本文化を中心に多岐に渉るテーマについて講演を行い、国際文化交流を推進すると共に、日本の伝統文化である雅楽の紹介を趣旨とした。第 13 回の講演は、オンラインによるリモート中継とし、宇宙物理学の第一人者である佐藤勝彦東京大学名誉教授にご講演をいただいた。
- b. 日 時：令和 4 年 5 月 22 日（日）14 時 30 分～17 時 35 分
- c. 場 所：紀尾井小ホール（東京都千代田区）
- d. 参加者：137 名
- e. 入場料：前売り 2,500 円、当日 3,000 円
- f. 内 容：講演と雅楽演奏
第一部 講演・質疑応答
講師：佐藤勝彦博士
東京大学名誉教授（宇宙物理学）
独立行政法人日本学術振興会学術システム
研究センター顧問
テーマ：「宇宙の誕生と未来～私たちはどこから来てどこに行くのか？」
第二部 雅楽演奏
管絃：「太食調音取」「合歡塩」「抜頭」
舞楽：「萬歳楽」
歌謡：「さくらさくら」「荒城の月」「ふるさと」
- g. 特別出演：
笛 安齋省吾・元宮内庁式部職楽部首席楽長
歌 日向由子（声楽家）、ひなたおさむ（声楽家）
- h. 主 催：公益社団法人北之台雅楽アンサンブル
- i. 反 響：

- ・ 佐藤先生の宇宙のお話には、知的興奮を味わわせていただきました。また、雅楽と舞も堪能させていただきました。
- ・ 「宇宙の誕生と未来」についての素晴らしい講演を拝聴し、雅楽のゆかしい調べや舞曲を満喫いたし、また日本の懐かしい歌曲を雅楽の伴奏で聴かせて頂き有難うございました。巨大な宇宙から見ると点のような小さな私たちの活動もかけがえのない大切なものだと感じ入りました。
- ・ 壮大な宇宙のお話しに自分がちっぽけな存在だと痛感しました。
- ・ 雅楽鑑賞は初めてですが、楽器とその一つ一つの音色、美しい衣装と舞、全て芸術性を感じて、まさに日本の伝統芸能だと思いました。ぜひ本学のサマープログラムで海外参加者にもお見せしたく準備を進めさせて頂ければ幸いです。

【事業名2：第14回「雅楽と国際文化交流」】

- a. 事業の趣旨：国内外の各界の有識者を招聘し、日本文化を中心に多岐に渉るテーマについて講演を行い、国際文化交流を推進すると共に、日本の伝統文化である雅楽の紹介を趣旨とした。第14回は、日本伝統芸能紹介の殿堂である国立劇場で実施し、東京大学生産技術研究所の戸矢理衣奈准教授にご講演をいただいた。
- b. 日 時：令和5年3月8日（水）18時00分～20時30分
- c. 場 所：国立劇場小劇場
- d. 参加者：約330名
- e. 入場料：前売り4,000円、当日5,000円
- f. 内 容：講演と雅楽演奏
- 第一部 講 演
- 講師：戸矢理衣奈
東京大学生産技術研究所准教授
テーマ：「個性と普遍性～写真家としての福原信三
（初代資生堂社長）」
- 第二部 雅楽演奏
- 管絃：「平調音取」「林歌」
舞楽：「輪臺・青海波」
歌謡：「私を泣かせてください」「荒城の月」
- g. 特別出演：
- 笛 安齋省吾・元宮内庁式部職楽部首席楽長
- 笙 大窪貞夫・重要無形文化財保持者
- 箏 久恒壮太郎・重要無形文化財保持者
- 歌 日向由子（声楽家）、ひなたおさむ（声楽家）

h. 主 催：公益社団法人北之台雅楽アンサンブル

i. 反 響：

- ・ 国立劇場が6年に亙り閉鎖になる前の重要な時期に、北之台雅楽アンサンブルの公演が実現したのは、皆様のご努力と高い認知度の賜物だと思います。
- ・ 戸矢理衣奈博士による福原信三氏についての講演は資生堂を時代に先駆けて業績と歴史を作られた人物であったことを初めて知り興味深く伺いました。雅楽のメロディーは日本人の古来からの音であると感じ懐かしく舞も優雅で楽しみました。
- ・ 優雅で美しい雅楽の演奏と舞踊、資生堂について初めて知ることが多い講演会と荒城の月の新たな解釈に基づいた歌唱など何も誠に貴重な時間を過ごすことができました。
- ・ 安齋先生、宮内庁楽部・大窪先生、久恒先生による雅楽の演奏は、大変にすばらしい演奏でございました。舞楽の「青海波」で、着用されておられたお衣装は、お袖の部分に、「青海波」があしらわれている、とても美しいものでございました。日本の文化である雅楽が、多くの海外の人々にも、感動をもたらすものであると信じております。北之台雅楽アンサンブル様の益々のご発展をお祈り申し上げます。
- ・ 他、春らしい明るい舞台、きらびやかな装束と舞、透き通った音楽、雅楽と洋楽の見事なコラボに感嘆等々、国立劇場での見事な舞台演出に感嘆の声を多くいただきました。

2. 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催

① 海外雅楽公演及びそれに伴う事業

【事業名1：2022 スイス・パリ雅楽公演】

- 事業の趣旨：本事業を通して、1400年の継承をみる「雅楽」の高度な日本文化、技術伝承の基を紹介し、2025年大阪・関西万博の意義を広く発信すると共に、国連が掲げるSDGs(持続可能な開発目標)達成に向けて、今日人類が遭遇している深刻な自然環境破壊、貧困、格差、教育、健康(パンデミック)等の深刻化する諸問題に対し、精神的メッセージを欧州社会に発信することを趣旨とした。
- 渡航期間：2022年9月21日～10月3日(11泊13日)
- 公演場所及び来場者数：
(スイス)
チューリッヒ 9/22 チューリッヒ工科大学 126名

	9/23	チューリッヒ音楽院	250名
ベルン	9/24	在スイス日本大使館多目的ホール	50名
ジュネーブ (フランス)	9/26	フランク・マルタンホール	300名
パリ	9/30	パリ日本文化会館	185名
	10/1	パリ日本文化会館	238名

d. 対 象：一般及び学生

e. 公演内容：

- ・ 演奏：公益社団法人北之台雅楽アンサンブル
- ・ 特別出演：安齋省吾（元宮内庁式部職楽部首席楽長、元重要無形文化財保持者）、ひなたおさむ（声楽家）
- ・ 所要時間：2部構成で約2時間（休憩15分含む）
- ・ 演目：第一部 楽器紹介、催馬楽「更衣」、管絃「平調音取」「越殿楽」「陪臚」
- ・ 第二部 舞楽「萬歳楽」「陵王」「浦安の舞」、歌謡「越殿楽今様」「君が代」
- ・ ベルン日本大使館及びチューリッヒ大学におけるワークショップは休憩なしで90分。楽器紹介、管絃「平調音取」「越殿楽」、十二単着付けデモンストレーション、舞楽「甘州」（大使館では「萬歳楽」）、歌謡「さくらさくら」「荒城の月」「ふるさと」（大使館では「越殿楽今様」「君が代」）及び質疑応答を行った。

f. 派遣人員：計20名（楽人12名、舞人5名、声楽家1名、装束師1名、運営通訳スタッフ1名）

g. 現地受入れ機関：

（スイス）

在スイス日本国大使館、スイス日本協会、チューリッヒ大学

（フランス）

パリ日本文化会館

h. 助 成：日本万国博覧会記念基金、サカエ・シュトゥンツィ基金

i. 反 響：

- ・ スイスでは、1970年に宮内庁雅楽がチューリッヒ公演を行って以来、約半世紀ぶりの雅楽公演だった。主催団体のスイス日本協会ヘルベルト・ハーグ会長（旭日中綬章）は、「この日が来るのを長い期間待ちわびていました。感無量です」と感想を述べた。
- ・ ジュネーブとパリの司会はベルギーよりアド・イゲンス博士（実存分析世界連盟会長）が平安朝の狩衣を着衣され、雅で瞑想的な世界を表現された名司会で好評だった。
- ・ 9月22日（木）はアインシュタインを輩出した世界的名門校チ

ューリッヒ工科大学でのワークショップ。東アジア美術史がご専門のハンス・トムセン教授（旭日小綬章）による解説と共に、雅楽演奏に加え、楽器解説、十二単着付け、会場からの質疑応答も行い、雅楽に親しく触れていただいた。教授からは、「素晴らしいイベントをありがとうございました！見事な演奏に立ち会うことが出来ました。おかげさまで雅楽の素晴らしさをより多くの外国の方へ伝えることができました！学生たちもこういう伝統が日本にあるのを知らなかったと感動しています」と賛辞をいただいた。

- ・ 9月23日（金）、チューリッヒ音楽院公演。歌謡、管絃、舞楽すべてのジャンルをご披露させていただいた。最後、声楽家ひなたおさむ様による「越殿楽今様」「君が代」の歌の後には、拍手が鳴りやまず、アンコールに応え「荒城の月」を追加演奏するほど大好評だった。
- ・ ハーグ会長からは、「とても繊細で美しい、完璧かつ質の高い素晴らしい公演を実現いただき心より御礼申し上げます。聴衆は雅楽の高い芸術性と優雅さに大変満足しました」と謝意があった。
- ・ 9月24日（土）ベルン移動後、在スイス日本国大使館多目的ホールにてワークショップ。白石興二郎駐スイス日本国特命全権大使ご夫妻様はじめ、日頃より日本文化に興味を寄せられる約50名の方々が参集され、大好評だった。
- ・ 9月26日（月）フランク・マルタンコンサートホールにおけるジュネーブ公演。スイス日本協会ロマンド支部のビート・フレイ会長はじめ、協会役員の皆様方のご尽力により、ジュネーブで初めての雅楽公演が実現した。会場は、ジュネーブ国際機関日本政府代表部辻阪高子公使、ジュネーブ日本総領事北村領事はじめ、現地有識者のご招待者を始め、300名近い参加者で埋め尽くされ、雅楽への関心の高さが伺えた。
- ・ アド・イゲンス博士（ジュネーブ及びパリ司会）「井口理事長による静寂の中に響いた笏拍子（更衣）と第一声の歌声が心に響いた。浦安の舞の神々しい姿に啓示的感動を覚えた。琴の指使い。安齋先生の存在感。高い緊張感ある雅楽を堪能した。」
- ・ 9月30日及び10月1日の二日間、パリにおける日本文化発信の重要拠点であるパリ日本文化会館大ホールにて公演。コロナ規制が解除されたものの、芸術好きなパリの観客は多くの劇場、コンサートホールは空きが多い中、本公演に対する関心度は高く、両日とも定数に近い入場者を記録したことは画期的なことと同館の白崎吾郎事業部次長が話されていた。

- ・ 同館の鈴木仁館長、駐仏日本国大使館・宝田あづみ一等書記官、現地有識者、芸術関係、マスコミ関係他、一橋大学如水会パリ支部、津田塾大学欧州支部の方々をはじめとした多くの在留邦人の方々に参加いただいた。
- ・ 鈴木館長からは、「両日ともほぼ満員で、しかもフランス人の観客が多く驚きました。パリ日本文化会館の運営審議委員のヴァレオ社の前最高経営責任者 CEO のジャック・アシェンブロワご夫妻もお見えになられ堪能された様子でした」と報告をいただいた。
- ・ 又、参加者からは、「日本の精神性への美しい旅でした。優雅さ、繊細さ、とても素晴らしかったです！」「心地よいメロディーは瞑想的でした」「この未知な光景は、私たちに非常に遠い世界へと誘い、異国情緒あふれる魅力的な音楽から生まれる幻想的な感動を味わいました」といった多くの感想が寄せられた。
- ・ 本事業は、千数百年の伝統ある雅楽を海外に広く紹介すると共に、雅楽に内在する「自然への尊敬」「他文化への理解」そして「平和への祈り」のメッセージを世界に発信することを願いとした。千年を超え、そして今も息づくこの精神性に欧州の多くの人々、海外に在住される邦人の方々に感動を与えることが出来た。

② 海外における教育機関における雅楽演奏会、日本文化体験教室

対象事業はない。

3. 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介

① 雅楽演奏会

対象事業はない。

② 雅楽体験教室

【事業名 1：伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業 千葉県庁委託事業】

- a. 事業の趣旨：当該事業は千葉県環境生活部県民生活・文化課策定の「伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業」実施要項に基づき、千葉県内の小中学校の児童・生徒を対象に、邦楽理解の向上と伝統的音楽文化の普及・振興、並びに邦楽における後継者育成に寄与することを趣旨とした。本年度の参加総数は 642 名（8 校）となり、2013 年から 10 年継続し、累計 65 校において計 10,300 余名の児童・生徒が参加した。

- b. 日 時：令和 4 年 11 月より令和 5 年 1 月
c. 場所及び参加者数：千葉県内小学校 8 校（千葉県教育委員会推薦）

参加合計数 642 名

- ① 令和 4 年 11 月 28 日 八千代市立西高津小学校 165 名
- ② 令和 4 年 12 月 8 日 鴨川市立田原小学校 86 名
- ③ 令和 4 年 12 月 9 日 いすみ市立太東小学校 74 名
- ④ 令和 4 年 12 月 14 日 成田市立八生小学校 54 名
- ⑤ 令和 4 年 12 月 15 日 勝浦市立豊浜小学校 31 名
- ⑥ 令和 5 年 1 月 13 日 旭市立矢指小学校 83 名
- ⑦ 令和 5 年 1 月 19 日 浦安市立明海南小学校 85 名
- ⑧ 令和 5 年 1 月 20 日 松戸市立八ヶ崎第二小学校 64 名

d. 内容

鑑賞 管絃「楽器紹介」「平調音取」「越殿楽」

舞楽 舞楽「輪臺」

体験 舞楽体験

質疑応答

- e. 参加人員：楽人 11 名、舞人 4 名、スタッフ 8 名 計 23 名

f. 児童感想：

- ・ 色々な楽器があって凄かったです。音がとても力強く、とても心がふるわされました。すべての楽器の音色がはっきり聞こえて、曲に引き込まれるような感じがしました。
- ・ 舞楽を体験して、見るよりずっと難しいと思いました。実際に舞の一部を踊ってみると難しかったです。前のお手本の人を見てまねをして少しずつ出来るようになりました。
- ・ 演奏と舞でよく聞いていると確かに宇宙が連想できて、目を閉じれば何かが目の前にいるような感じを受けるほど、素晴らしい演奏でした。
- ・ 千年以上も昔の音楽を聞けてとても楽しかったです。おかげで、日本の音楽が好きになりました。これからも世界中に日本の音楽を広めてください。

【事業名 2：小中高校における雅楽体験教室】

対象事業はない。

③ 雅楽研修会

【事業名 1：千葉商科大学サマープログラム雅楽鑑賞会・体験】

- a. 事業の趣旨：同校の国際交流イベントとして、海外留学生を対象としたサマープログラムが企画されており、海外留学生に日本の伝統文化を紹介し、日本理解を深めてもらうことを趣旨とした。
- b. 日 時：令和4年8月19日（金）14時30分～15時50分（80分）
- c. 場 所：千葉商科大学市川キャンパス本館7階大会議場
- d. 参加者：50名（アジアやアメリカ、ヨーロッパからの学生13名を含む）同プログラムの受講者約40名に加え、同学職員や市川市の海外担当職員が参加。千葉日報からの取材もあった。）
- e. 内 容：
 - 1. 雅楽説明、楽器紹介（20分）
 - 2. 舞楽「萬歳楽」（25分）
 - 3. 舞楽体験（20分）
 - 4. 質疑応答（15分）
- f. 参加人員：楽人9名、舞人4名、スタッフ3名 計16名
- g. 主 催：千葉商科大学
- h. 反 響：
 - ・初めて雅楽を見たが、パフォーマンスやコスチュームに感銘を受けた。
 - ・昔の人が行っていた舞を体験出来て良かった。
 - ・日本の伝統文化の精神及び文化的側面に触れることができた、など海外留学生から多くの感想があり、好評だった。

【事業名2：昭和女子大学文化研究講座・雅楽鑑賞会】

- a. 事業の趣旨：昭和女子大学の授業の一環である文化研究講座に参加し、「源氏物語と雅楽」をテーマに、同校学生の雅楽への理解を深めることを趣旨とした。
- b. 日 時：令和4年11月17日（木）18時15分開演
- c. 場 所：昭和女子大学・人見記念講堂
- d. 参加者：同校学生 1,164名
- e. 内 容：「源氏物語と雅楽」をテーマに、雅楽の実演（管絃、舞楽、歌謡）、楽器紹介を行った。
 - 第一部 雅楽説明
 楽器紹介
 管絃、「平調音取」「更衣」「林歌」「陪臚」
 休憩 20分
 - 第二部 舞楽説明
 舞楽、「輪臺・青海波」 計120分
- f. 参加人員：楽人16名、舞人6名、司会1名、

スタッフ（装束3名、舞台2名、記録1名） 計29名

g. 主催：昭和女子大学

h. 反響：

- ・日本語日本文学科所属ですが、なかなか源氏物語の雅楽というものがイメージできなかつたのですが、今回文化講座という形で教養を深めることができ、勉強になった。また、舞楽の音に合わせた動きに目が離せなくなり、神秘的かつ神聖な気持ちで鑑賞することができた。
- ・源氏物語の情景が思い浮かび、鑑賞していて楽しかった。特に、青海波は源氏物語を読んでいて、光源氏と頭中将が舞う姿が印象に残っていたため、実際に見ることができてよかった。演奏や舞の装束から、平安時代の雰囲気や日本の伝統を感じることができた。また、源氏物語の登場人物や、平安時代から今に至るまでの多くの人々がこのような音楽を聴いていたのかと思うと、日本の歴史の長さや文化の保存に対しての強い思いを感じることができた。
- ・初めての雅楽体験であったので、貴重な時間を過ごすことができた。楽器の説明も詳しく、新しい知識を得ることができた。雅楽を通して、もう一度源氏物語を見返し、今日の舞はどのシーンを表現しているのか考えてみたいと思った。
- ・今回はじめて生演奏で雅楽を聴きしたが、音色がとても綺麗で演奏に引きこまれた。また、司会から丁寧に楽器のことや歴史的背景などの説明があったので、雅楽がどのような音楽かを少し知ってから聴くことができたので良かった。文化研究講座を通じて貴重な機会を得られた。
- ・今回の公演で初めて雅楽を鑑賞し、多くのことを学ぶことができた。日本人として、日本の伝統的な文化に触れることができたことは良かったと感じる。中高生時代、吹奏楽部と軽音楽部に所属していたため、その時の経験や知識を踏まえ、比較しながら鑑賞することができた。そして、音楽における欧米との違いを発見することができたと思う。本公演を通して、日本について学ぶ機会を取り入れる必要性を感じた。そうすることで、今後外国人と交流する際、自国の文化について伝えられることが大切であると思った。
- ・雅楽の説明が懇切丁寧でわかりやすかったが、個人的にはもう少し短くても良かったと思った。

4. 管理・広報部門の充実（法人活動）

① 広報活動

- a. Web、情報誌、パンフレット、チラシを媒体とした PR 活動の推進
- b. 賛助会員募集（個人会員）の推進
- c. 年会報（年一回）の作成発行（賛助会員配布用）
 - ・ 今年度は、特別にスイス・パリ雅楽公演の会報を作成し、賛助会員等に活動内容を報告した。

② 事務機能の充実

- a. 定款による事務業務の遂行

以 上